



量的にはサンクトペテルブルク経由のものが最大となっている。所要時間はサンクトペテルブルクまでが、船で 40 日、モスクワまでは、トラックで 5 日、合計で通関も含めて 50 日ぐらいかかるのが普通である。ノボロシースク経由は新しいルートであるが、サンクトペテルブルク経由と比べ 2 週間ほど短縮できる。シベリア鉄道ではプロットレインという途中で編成替えを必要としない、固定編成の直通列車があり、これを利用すると 10 日くらいで到着が可能である。ただし、揺れ、衝撃のため輸送品質は低いと言われている。このほか、フィンランド経由も可能であるが、港湾手数料がロシアに入っていないことから、ロシア側から見るとあまり歓迎されていない。

食料品の輸送は、コンテナを使うのが一般的である。コンテナの大きさには、20 フィートと 40 フィートがある。冷蔵コンテナは通常 40 フィートサイズのもので、常時同じ温度を保つ仕組みになっている。

通関はどこ税関でもできることになっているが、モスクワなどの内陸で通関した方がスムーズな場合もある。サンクトペテルブルクに荷揚げされたものでも、モスクワで通関することも可能である。サンクトペテルブルクのバルチック税関は厳しいと言われている。

関税はロシアに入国する際の CIF 価格（商品の価格+輸送費）にかかるため、極東で入国した方が輸送費が少ない分安くなる。